

にじ

第3回 認定看護師・専門看護師 看護実践発表会

..... P2~3

第56回 学会出張報告	P4
絵本のおくりもの	P5
ハートフルナーシング賞 受賞者の声	P6
地域連携病院のご紹介 Vol.90	
医療法人若草会 高田内科	P7
高知医療センター イベント情報	P8

2

FEBRUARY 2017 Vol.136



1月7日(土)、当院2階やいろちようにて、高知市消防局のみなさんのご協力のもと、龍馬マラソンのボランティアスタッフを対象にBLS/AEDの事前講習会が行われました

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

認定看護師・専門看護師 実践発表会

広げよう未来を創る 看護の力



平成28年11月26日(土)、くろしおホールにて「広げよう未来を創る 看護の力」をテーマに、認定看護師・専門看護師実践発表会が開催されました。基調講演では、四国医療産業研究所所長の檀本真幸先生より「地域包括ケア時代」と題してご講演をいただきました。病院はあくまで、患者さんが一時的に治療を受ける場所であって、患者さんの生活は地域にあることを再認識し、その視点で看護を考えることの重要性を強く感じさせられました。認定看護師・専門看護師による実践発表では、院外から6題、院内から5題の演題発表により、施設の枠を超えて活動の状況を知ることができ、看護の質の向上、多施設間の連携に役に立つ有意義な時間を過ごすことができました。

がん看護専門看護師 外来科長 池田 久乃

◆◆◆◆◆ 基調講演 ◆◆◆◆◆

「地域包括ケア時代」

看護の力を未来につなげるために 認定看護師・専門看護師に期待されること



「檀本先生のお話をもっと聴かせていただきたい！」

私は、県外の学会で檀本先生の「地域包括ケア」に関する講演を聴き今回の講演を熱望したところご快諾いただきました。

檀本先生のご講演から、急性期病院・病棟であっても、生活を分断せず生活に戻すための医療を重視し、患者さんやご家族のその人らしい生き方を支援していくことが重要であること、健康とは「QOL(生活の質)」であり、連携とは目標を共有し、患者さんやご家族、医療者がお互いの力を引き出せるために途切れないこと等、多くの学びがありました。そして「前向き」「感謝」「問題解決型ではなく目的達成型の思考」が大切であること等、看護の根幹を深く考える機会となりました。



◆◆◆◆◆ 講師 ◆◆◆◆◆

四国医療産業研究所 (所長)
日本医師会総合政策研究機構 (客員研究員)

ひつもと しんいち

檀本 真幸先生

小児看護専門看護師 科長 三浦 由紀子

「広げよう未来を創る 看護の力」を最も感じた実践発表

第1位

救命救急センターにおける end of life care のカタチ -A 氏の外出調整の経験振り返って-

高知医療センター 急性・重症患者看護専門看護師 岡林 志穂



救急医療の現場では、救命を最大の目標に治療が行われますが「救う医療」から「看取る医療」にシフトしなければならないことも多くあります。しかし、「看取る医療」にシフトした際は、患者さんの病状が重篤で残された時間的猶予が少なく、患者さん・ご家族のニーズに沿ったその人らしい人生の終焉を提供できずジレンマを感じることもあります。

今回、救命救急センターに入院中の終末期にある患者さんの外出調整について発表させていただきました。初めての試みでしたが、患者さん・ご家族の強い思いとスタッフそれぞれが専門性を最大限に発揮したことで外出を実現することができました。今回の経験から、多職種連携のあり方やその重要性、そして何よりも看護ケアには無限の可能性があることを改めて実感しました。



実践発表内容

【第1群】〈座長〉久保 光恵 片岡 薫

1. 認知症のある患者の療養生活を支える看護 - その人らしさを引き出す介入とは -
【高知赤十字病院】認知症看護認定看護師 松高 ゆり
2. 脳卒中患者の退院指導 【いずみの病院】脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 森本 香
3. 家族の力を引き出す退院支援 - 在宅で医療処置が必要な患者家族との関わりを通して -
【高知医療センター】家族支援専門看護師 松下 由香
4. 救命救急センターにおける end of life care のカタチ -A 氏の外出調整の経験振り返って -
【高知医療センター】急性・重症患者看護専門看護師 岡林 志穂
5. 慢性心不全患者の意思決定への関わり - 植え込み型人工心臓を選択しなかった患者の事例より -
【高知医療センター】慢性心不全看護認定看護師 窪田 美穂
6. 乳がん患者への下着、補整具の支援と事例紹介 【高知赤十字病院】乳がん看護認定看護師 小笠原 美千代

【第2群】〈座長〉伊藤 敬介 有澤 良子

7. 基本的緩和ケアの質向上への取り組み - がん患者の苦痛のスクリーニングを通して -
【高知医療センター】がん性疼痛看護認定看護師 明神 友紀
8. 苦痛のスクリーニング - 院内の緩和ケア普及に向けた看護のとりくみ -
【高知大学医学部附属病院】がん看護専門看護師 北川 善子
9. ICUから始める糖尿病看護 可視化への取り組みと課題 【高知赤十字病院】糖尿病看護認定看護師 濱田 一豊
10. 頸椎損傷患者の回復に向けたスキルミクス 【高知赤十字病院】急性・重症患者看護専門看護師 井上 和代
11. ハートチームにおける手術看護認定看護師の役割 - TAVI 導入から確立に向けて -
【高知医療センター】手術看護認定看護師 大砂 ゆかり

2017 年度も開催を予定しています。院外の方もぜひご参加ください。



次年度はより多くの方にご参加いただき、さらなる看護の質向上につなげることができる発表会となるよう、今後も取り組みを続けていきたいと考えております。



第56回：高知医療センター職員による学会出張報告

AHA(米国心臓協会学術集会)2016 inアメリカ

2016.11

循環器内科 尾原 義和



平成28年11月中旬にアメリカ・ニューオリンズで開催されたAHA(米国心臓協会学術集会)2016に参加してきました。この学会はACC(米国心臓学会)やESC(欧州心臓病学会)と並び、循環器領域では最も権威がある学会で、私も10年ぶりに参加させていただきました。

宿泊のホテルから会場までは徒歩で移動可能な距離でしたが、ご丁寧にホテル前までシャトルバスが運行されており、折角なので利用させていただきました。さすがはアメリカ、贅沢な学会と感心しました。

私自身が現在興味を持って取り組ませていただいている構造的な疾患に対するカテーテル治療についての発表を聞いてきました。現在日本では大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療、いわゆるTAVIが行われておりますが、すでに海外では僧帽弁に対するカテーテル治療に関心が移っております。その中で、MitraClipと言われる僧帽弁治療のデバイスは、すでに米国では臨床現場で使用されており(日本では治験が終了して、早ければ本年にはその結果が発表されます)、今回は僧帽弁置換術のデバイスのレクチャーがありました。非常に有用なデバイスではありますが、その侵襲度はやはり大きく、また僧帽弁の解剖などからまだまだ解決する問題点が多いと結論づけしておりました。ただ米国は種々のベンチャー企業が色々なデバイスを開発しており、いずれ臨床の現場にも簡便な僧帽弁置換術のデバイスが登場することが期待されます。

今回私はポスターで“Comparison of Global

Myocardial Function With 2 Types of Pressure-Overload Left Ventricular Hypertrophy Using 2-Dimensional Speckle-Tracking Echocardiography”という演題を発表して参りました。これはともに左室肥大を来す大動脈弁狭窄及び高血圧において、形態的には類似するこの左室肥大を心エコーの特殊な手法にて差異があるかを検討した研究で、大動脈弁狭窄により左室肥大を来した心臓の方が、より左室長軸方向の心筋障害が強いことを報告しました。丁度エコーのセッションでしたので、日本からの先生が多く、結局日本語での質疑応答が多かったという、オチまで付きました。



今回、AHAに参加して強く感じたのは、この学会自体が予防医学に重点を置くようになっており、私が主に行っているカテーテル治療(PCIやTAVIなど)のデバイスや心エコーの展示などはほとんどありませんでした。それに代わって、心臓マッサージのデバイス、植え込み型除細動器、心電計などの展示が多くみられました。また会場の一角では、心肺蘇生のレクチャーが実施されておりました。私のようなInterventional Cardiologistには少し趣の異なる学会になってきているのかもしれない。

ただAHAで発表するというのは、今もなお循環器内科医にとっては栄誉な事であります。これからも知力体力の続く限り臨床研究を続け、国際学会での発表を目指したいと思います。それと国際学会で発表したいという研修医の先生がおられましたら、是非一緒に研究しませんか？



絵本のおくりもの

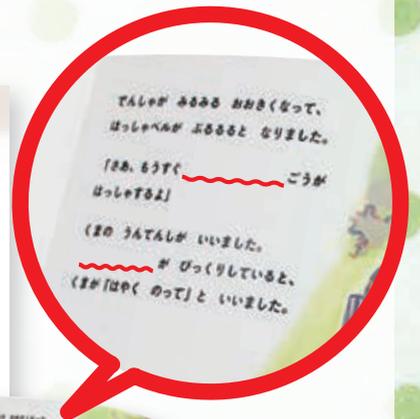
栄養局 坂本 一美

高知医療センターの給食業務を担当している日清医療食品(株)スタッフの筒井美亀さんは、高知市民病院と高知県立中央病院が合併する前から入院中の赤ちゃんのミルクを作る担当で、この道15年のベテランです。

筒井さんは、ミルク缶についているポイントシールを何に使えるかわからないまま、ずっと集めていたそうです。

そんな折、あるスタッフの方がドラッグストアに立ち寄った時に、そのポイントが使える

キャンペーン情報を見つけました。それは200ポイントためて送付すると、もれなく絵本がもらえる内容でした。栄養局で話し合いをして、そのキャンペーンに応募し、届いた6冊の絵本をすこやかA小児病棟に寄贈しました。筒井さんのおかげで入院中の子どもたちにいい贈り物ができました。ありがとうございました。



この絵本は、子供の名前が主人公になる世界にひとつだけの絵本ですが、小児科病棟では読んだみんなが主人公になれるよう、名前の部分は空白にしています。

ハートフルナーシング賞は、看護局の理念「いのちに寄り添い ところをつなぐ パートナースhip」を実践し、同僚・他職種・患者さん・ご家族から、信頼や尊敬を得ている看護職員を称え看護のこころをわかちあうために、看護局協議会メンバーにより2012年に創設しました。これまでに看護師14名、看護補助者7名の方が栄誉あるハートフルナーシング賞を受賞しております。

今年度の受賞者の声をお届けします。

賞を頂き驚きとともに一緒に働く科長、副科長並びにスタッフに感謝しています。安心、安全な看護の提供は一人ではできないので、できる環境、仲間に支えられての賞です。ありがとうございました。



すこやか4A
橋本 住香(看護師)

この度は大変素晴らしい賞をいただきましてありがとうございました。これを励みに、これからも皆さんと共に頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回ハートフルナーシング賞を頂き大変恐縮致しますが、嬉しくもあり、照れもあり、というのが受賞時の心境です。今回を機に、新たに気を引き締めていきたいと思っております。



9・10Fフロア
中村 貴美恵(看護補助者)



ハートフルナーシング賞 受賞者の声



中央手術
中岡 傳雄(看護師)

今回ハートフルナーシング賞を頂き、周りの人達に改めて実感しています。皆に感謝し、期待に添えるように努力しました。

私は、患者さんの気持ちに寄り添い、今日も生きて良かったと思っていただけるような援助ができたと思っています。定年退職後も同じ部署で働かせていただき、若いスタッフに日々助けられ、元気づけられています。8Bは、すべての看護師、看護補助者さんが本当に優しく、思いやりのある方ばかりです。この賞は8Bでいただいたと思っています。



のびやか7A
寺岡 美香(看護師)



さわやか8B
榎村 卓子(看護師)



医療法人若草会 高田内科

〒783-0005
 南国市大桶乙 1253-8
 TEL：088-863-3925
 FAX：088-863-3924
 H P：http://www.takata-clinic.jp/

【診療科】

内科、呼吸器内科、消化器内科
 内分泌科、循環器内科、糖尿病内科
 腎臓病内科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:30	●	●	●	●	●	●	△
14:00～18:00	●	●	●	※1	●	△	△

休診日：土曜日午後・日曜日・祝日
 ※1 木曜日午後 14：00～17：00

当院は昭和62年4月、南国市大桶に開院いたしました。この地は現理事長が生まれ育った土地です。小さな頃からの知り合いも多く、地元の皆さまのお役に立ちたい一心で診療してまいりました。平成18年に中城一男医師(現院長)、平成20年には新藤篤医師(現副院長)を迎え、現在は3名の医師でそれぞれの専門性を活かし幅広く診療を行っています。

当院は無床診療所ですが常勤医が3名いて、看護師6名、管理栄養士1名、医療事務3名で診療を行っています。院長の中城一男医師は消化器内科、副院長の新藤篤医師は内分泌、代謝、腎臓内科が専門で、皆で相談しながら精度の高い診療を目指しています。早い時期から電子カルテを導入し、超音波診断装置は3台で各診察室に設置しています。またヘリカルCT、上部下部内視鏡、レントゲン撮影装置、透視診断装置を備えています。ファイリングシステムを導入し、フィルムレスを実現しました。CTは全例遠隔読影による放射線科専門医のバックアップを受けており、翌朝にはレポートが届く体制になっています。当院は消化器疾患が多いのが特徴です。内視鏡は年間約2000例(上部1500例、下部500例)を行っています。近隣の医療機関からの紹介も増えています。他にも骨密度測定、肺機能検査、24時間自由行動下血圧測定、負荷心電図、ホルター心電図、睡眠時無呼吸



検査などを行っています。糖尿病や狭心症などの患者さんも増加の一途です。抗がん剤治療、緩和医療も受け入れ可能です。

(高：高田内科、医：高知医療センター)

医：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

高：患者さんに信頼されるよう、丁寧な診療を心がけています。急性疾患では的確な診断、慢性疾患では予防や早期発見に重点を置き、重大な合併症を未然に防ぐよう、きめ細かく指導・管理しています。管理栄養士による栄養指導も長年続けています。内視鏡検査では希望があればセデーションを行い、苦痛を極力感じずに受けていただけるようにしています。また、安全衛生管理、院内感染対策も重要です。担当者には勉強会があれば積極的に参加してもらっています。

医：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

高：患者さんはいくつかの疾患を抱えており、他科との連携は必須で、地域の医療機関には大変お世話になっています。訪問診療を行っている寝たきり患者さんについても他科の先生に往診していただくことがあり、大変ありがたく感謝しています。市中肺炎などでは入院が必要な場合、近くの病院を希望されることが多いようです。高度医療・救急医療は高度医療施設に紹介させていただいています。

医：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

高：医療は日進月歩であり、常に新しい知識と技術を習得していくことは当然ですが、ハード面でも常に最新のものを取り入れ、医療水準を高めるように努力しています。当院を受診してよかったと思われるような診療所にしていけたらと思っています。

医：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？

高：高度医療、救急医療では、高知医療センターには大変お世話になっています。高度医療施設でありながらも紹介しやすいシステムができており、ありがたく思っています。時に心電図判読を依頼することがありますが、親切に対応していただいています。今後とも何卒よろしく願っています。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。



月	日	曜	高知医療センター イベント情報			
2月	19	日	高新・高知医療センターがんセミナー 2016 (参加費要・事前申込要)			
			内容	がん治療時の食事と栄養	場所	高新文化教室(RKC高知放送南館3階37号室)
			時間	10:30～12:00	対象	一般(40名)
講師 高知医療センター 栄養局科長・管理栄養士 佐賀 啓子						
お問合せ: 高新文化教室 TEL:088(825)4322 受講料 1,500円/1回						
2月	25	土	第41回 地域がん診療連携拠点病院 公開講座 (参加費無料・事前申込不要)			
			内容	講演1:食道がんにおける集学的治療の重要性 講演2:肝臓外科の最前線 講演3:小児がん 治療の進歩	場所	高知市文化プラザかるぼーとJ11階 大講義室(高知市九反田2-1)
			時間	14:00～16:30	対象	一般
講師 講演1:高知医療センター 消化器外科・一般外科 医長 古北 由仁 講演2: 同 消化器外科・一般外科 医長 岡林 雄大 講演3: 同 小児科 小児診療部長 西内 律雄						
お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 TEL:088(837)3000(代)						
3月	10	金	PET講演会 (参加費無料・事前申込不要)			
			内容	PET/CT検査の役割と注意点	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	18:00～19:20	対象	医療関係者/一般
講師 兵庫県立がんセンター 放射線診断科 医長 野上 宗伸 氏						
お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 棚野 TEL:088(837)3000(代)						
3月	11	土	高知医療再生機構 小児科専門医養成支援事業 教育講演会 (参加費無料・事前申込不要)			
			内容	自閉スペクトラム症のライフステージに応じた医療的支援	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	15:00～16:15	対象	医療関係者
講師 高知医療センター 児童精神科 科長 泉本 雄司						
お問合せ: 高知医療センター 小児科 西内 TEL:088(837)3000(代)						
3月	16	木	高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修 (参加費無料・事前申込要)			
			内容	BLS/AED研修(ガイドライン2015)	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室
			時間	13:00～16:00	対象	看護師(3名)
講師 高知医療センター BLSインストラクター						
参加ご希望の方はお問い合わせください お問合せ: 高知医療センター 看護局 教育担当(野中、野田、藤本) TEL:088(837)3000(代)						
3月	18	土	平成28年度 高知呼吸器カンファレンス (参加費無料・事前申込不要)			
			内容	I:症例から学ぶ⑤ -縮小傾向を示した画像から得られることは?- II:【特別講演】臨床医にわかりやすい新TNM分類(UICC第8版)・取り扱い規約・WHO分類	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	16:30～18:30	対象	医療関係者
講師 I:高知医療センター 呼吸器外科 岡本 卓 II:香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部 助教 門田 球一 氏						
お問合せ: 高知医療センター 呼吸器外科 岡本 TEL:088(837)3000(代)						
3月	19	日	高新・高知医療センターがんセミナー 2016 (参加費要・事前申込要)			
			内容	もっと身近な緩和ケア ～その痛み、我慢しなくていいんです!～	場所	高新文化教室(RKC高知放送南館3階37号室)
			時間	10:30～12:00	対象	一般(40名)
講師 高知医療センター 看護局 がん性疼痛看護認定看護師 明神 友紀						
お問合せ: 高新文化教室 TEL:088(825)4322 受講料 1,500円/1回						

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

春とは名ばかりの厳しい寒気の日が続いていますが、皆さん体調を崩されていませんか?さて、あっという間に2016年も過ぎ去り、今年もはや1ヶ月がたちました。私にとって昨年は高知医療センターでの研修が始まり、様々なスタッフの方や患者さん、地域の皆さんとのたくさん出会いがあった1年でした。もうすぐ新しい年度を迎えることとなりますが、これからもひとつひとつの出会いや経験を学びとして大切に日々の業務を行っていきたく思っております。(広報委員 田所)



平成29年2月1日発行
にじ2月号(第136号)
毎月発行
編集者: 広報委員会
発行者: 吉川 清志
印刷: 株式会社 高陽堂印刷

発行元:
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL:088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp